

◆ 鷓川河口干潟の保全と再生の取り組み ◆

鷓川河口干潟の特徴

鷓川は占冠村から、むかわ町を経て太平洋に注ぐ延長135kmの一級河川です。河口部には干潟が形成され、シギ・チドリ類を中心とした渡り鳥の重要な中継地・えさ場となっています。



減少していく干潟

鷓川の河口部には、かつて約20haにも及ぶ干潟がありましたが、昭和53年から約20年の間に、最大で400mもの海岸が浸食されました。この変化は、鷓川漁港建設や河道内の砂利採取などで、河口域における土砂収支バランスが変化したことによるものと考えられています。

干潟の減少はシギ・チドリ類の飛来数に影響し、生態系の保護や環境保全の観点からも重要な課題となっています。



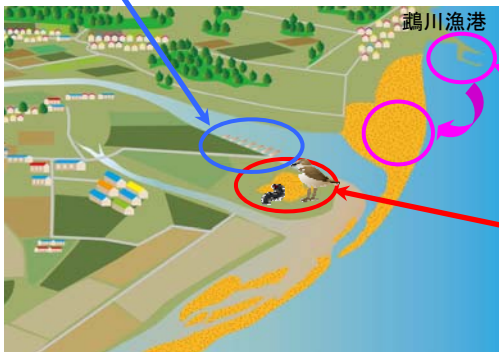
鷓川自然再生事業の取組

目標: 概ね20年間で20haの回復

室蘭開発建設部では、平成12年度よりシギ、チドリ類を中心とした渡り鳥の中継地としての機能を回復させる工事などを実施し、昭和58年(1983)年当時の干潟面積である約20haの再生を目標に取り組んでいます。

水制工の設置～水流の向きや勢いを変える水制工を設置し、河口の位置を左岸寄りに戻すと同時に、河口テラス※を形成させて海岸浸食を抑制します。

※河口テラス～川から運ばれた土砂が河口に堆積して出来る平坦で浅い地形



サンドバイパスの実施～鷓川漁港の機能を維持するため、漁港に溜まった土砂を掘っています。その土砂を運搬して鷓川河口に供給します。

人工干潟の造成～干潟減少に対する緊急的な措置として、2.5haの人工干潟を設置しました。

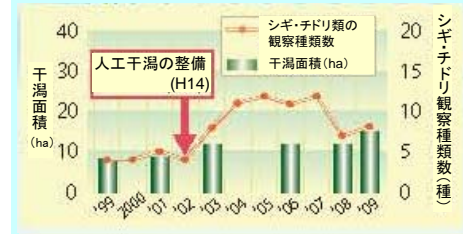


これまでの効果

干潟面積は増加傾向にあり、河口に飛来するシギ・チドリ類の観察種数も回復しつつあります。



平成21年10月撮影



「わが村は美しくー北海道」運動 第6回コンクール募集が始まりました

このコンクールは、農山漁村において、地域の魅力と活力を高めようとする住民主体の活動を見出し、これを広く発信し、波及させていくことによって、農山漁村の振興に寄与することを目指します。

第6回コンクール応募要領

■ 応募期間
平成24年4月26日(木)～平成24年6月30日(土) * 当日消印有効

■ 応募対象
北海道の農山漁村において、農林水産業の生産活動との関りがあり、地域住民が主体となって、地域づくりに取り組む活動を対象とします。

■ お問い合わせ先
応募に際しご不明な点があれば、開発建設部の窓口までご連絡、ご相談下さい。
〒051-8524 室蘭市入江町1番地14 室蘭開発建設部 土地改良情報対策官
TEL 0143-25-7049 FAX 0143-23-5664

* こちらのアドレスから各種情報をご覧になれます。 → http://www.hkd.ml.it.go.jp/zygyoka/z_nogyo/wagamura/index.html



参考: 第5回コンクール受賞団体 高橋牧場(えりも町)

参考: 第5回コンクール受賞団体 北海道中小企業家同好会 苫小牧支部 美苦みのり会(苫小牧市)

【発行・編集責任者】 北海道開発局室蘭開発建設部 広報官 0143-25-7051 地域振興対策官 0143-25-7053

〒051-8524 室蘭市入江町1番地14 <室蘭開発建設部ホームページ> → <http://www.mr.hkd.ml.it.go.jp/>

※今回は「魅力ある地域を目指す」をテーマに、シーニックバイウェイ北海道と鷓川自然再生事業について紹介しました。また、「わが村は美しくー北海道」第6回コンクールの募集についても掲載しています。

北海道開発局では、「北海道開発局行政へのご意見・ご要望」メール窓口を開設しており、広く国民・道民の皆さんからのご意見をお聞きしています。詳しくは、こちらをご覧ください。 → http://www.hkd.ml.it.go.jp/iken/iken_yobo.html